

22日

苫小牧信用金庫と「地域結婚支援事業」連携協定を締結

いい夫婦の日である11月22日に、苫小牧信用金庫と「地域結婚支援事業」の連携に関する協定締結式をむかわ町と合同で行いました。

この協定は、平成25年6月に苫小牧信用金庫が開設した結婚相談所「L L B (Love・Love・Bridal) 会」の会員登録活動の強化や婚活パーティーなどの事業促進を連携しながら、地域の少子化問題の解決に取り組むもの。

式で苫小牧信用金庫の石田芳人理事長は「行政と連携しながら地域貢献できれば」とあいさつしていました。

厚真町並びにむかわ町と苫小牧信用金庫との「地域結婚支援事業」連携協定締結式



連携協定を締結した宮坂町長(左)、石田理事長(中央)、竹中むかわ町長(右)

25日

鵜川漁協厚真支所が漁船の安全対策に関する優良な取り組み表彰を受賞

鵜川漁業協同組合厚真支所(澤口伸二代表理事副組合長)が、今年度から水産庁が新設した「漁船の安全対策に関する優良な取組に対する表彰」を10月に受賞し、宮坂町長に報告を行いました。

同支所は広く地域住民に海難の恐ろしさと人命の大切さを訴えるパレードや、いざというときのための救助訓練等を長年にわたって実施。

現在まで32年間事故死ゼロで北海道内の最長記録であり、これらの功績が評価され表彰されました。



感謝状や盾を手にする鵜川漁協厚真支所の組合員

30日

いざというときのために津波を想定した防災訓練を実施

大規模な地震と津波を想定した防災訓練が厚和、浜厚真、共和団地の3自治会を対象に実施されました。

防災行政無線や緊急速報メールを通じて訓練の開始が告げられると、上厚真小学校と厚南会館に町民約40人が避難しました。この日は、地域防災マスターの5人が参加し、屋外拡声器(スピーカー)の聞きやすさなどを点検。

訓練終了後には、厚南会館で町防災アドバイザーの定池祐季さんから津波に関する講話や消防署職員によるAEDの操作訓練が実施され、防災に対する理解を深めていました。

また、陸上自衛隊による炊き出し訓練も行われ、参加者にカレーライスが配られました。



自衛隊によるカレーライスの炊き出し

5日

全国レベルの演奏 町120年ジョイントコンサートを開催

町教育委員会主催の町120年ジョイントコンサートが厚真中央小学校で開催されました。第1部は全国的にも珍しい中学生によるジャズバンド部がある室蘭市立翔陽中学校が軽快な音楽を演奏。第2部はマーチングバンドの強豪校である駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽局が迫力ある演奏をしました。同校吹奏楽局には厚真町出身の生徒が2人参加。3年生の目黒ひよりさんは「元気を与えられるような演奏をしたいです」とあいさつしていました。



息の合った動きと迫力ある演奏を披露

10日

厚真中学校2年生が職業体験学習

11月10日・11日の2日間、厚真中学校(渋川賢一校長)の2年生が、町内の事業所や役場等で職業体験学習を行いました。

役場まちづくり推進課で情報発信や広報の仕事を経験した佐藤紫帆さんは「1人でインタビューと写真撮影をするのが大変でした」と感想を話していました。佐藤さんが書いた記事は、11月11日・14日の町公式フェイスブックに掲載されています。



稲葉で職業体験学習中の同級生を取材中の佐藤さん(右)

14日

女性消防団員らが独居老人世帯に防火を呼びかけ

11月19日からの防火査察を前に、胆振東部消防組合厚真消防団女性消防(山口真由美班長)の団員らが町長室を訪れ、胆振東部消防組合管理者である宮坂町長へあいさつを行いました。

女性消防は、毎年ひとり暮らしのお年寄り宅を訪問し、防火や防災などの啓発活動を行っています。今年は約90世帯に発電式LEDライトやメッセージカード入りのポケットティッシュを配布し、火災予防を呼びかけました。



女性消防から宮坂町長に啓発グッズを紹介

16日

厚南中学校が租税教育推進校表彰を受賞

厚南中学校(細野輝彦校長)が、苫小牧税務署の今年度の租税教育推進校に選ばれ、田辺文一苫小牧税務署長から感謝状と記念品が贈呈されました。

同校では、ポスターの製作や租税教室の実施、独自資料の作成など、児童に税の仕組みや大切さについて理解を深めてもらう取り組みに力を入れており、これらの活動が評価されました。



社会科の國分周後教諭が代表して感謝状を受け取った